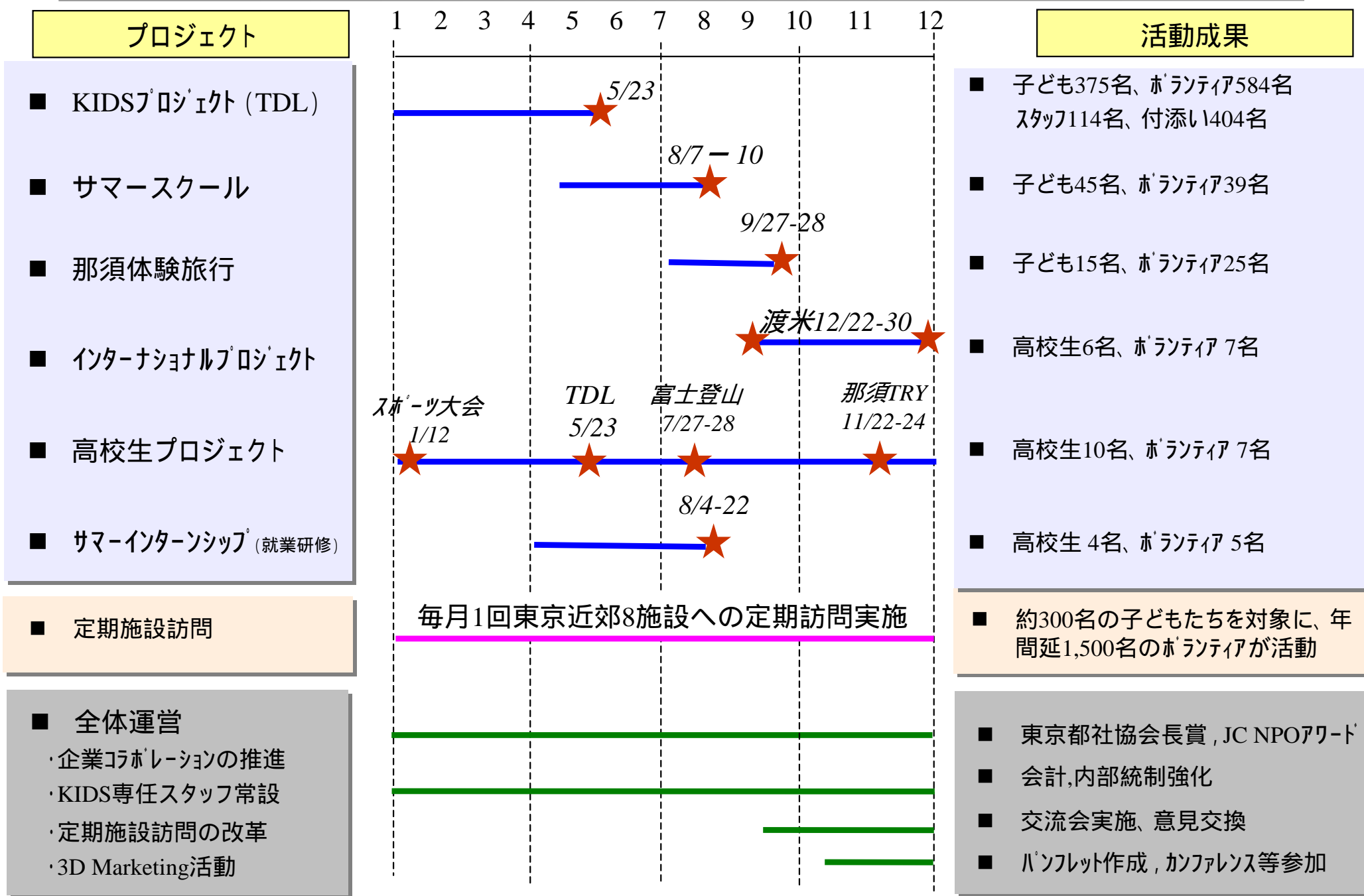


# 2003年活動報告

# 2003年活動オーバービュー



## ■ KIDSプロジェクト2003

- ディレクター: 田上 剣太郎
- 開催日時: 2003年5月23日(金)
- 参加者数: 子ども375名、ボランティア584名、付添い子ども102名、付き添い大人302名、スタッフ114名。総勢1,477名
- スローガン: 「ふれあいの実感」
- 狙い: 障害をもった子ども達とボランティアの継続的交流を目指すきっかけ作り。
- 主な活動内容
  - 身体的または知的障害を持った子どもだけを参加対象とした。
  - 一人立ちグループ、交流グループの設置
  - ボランティア交流会の実施
  - 養護施設在園の高校生をスタッフボランティアとして一緒に活動した。
  - 広報活動を通じてボランティア活動を社会へアピールできた。

### 活動の効果

新たな多くの子どもたちとボランティアに出会いの場を提供  
ボランティアへの積極的な働きかけにより、その後の継続ボランティアが増加  
高校生ボランティアの意識付けにより、その後に継続

## ■ KIDSサマースクール2003

- ディレクター: 徳久 正清
- 開催日: 2003年8月7日～8月10日 事前交流会: 6月22日 事後交流会: 9月14日
- 開催場所: 国立赤城青年の家
- 参加者数: 子ども:45名、ボランティア:39名 合計:84名
- 狙い: 子どもたちとボランティアが自然の中で共同生活を行うことで、子どもたちの社会性・自立性・協調性を育成する。
- 主な活動内容
  - 参加募集枠の多様化(自立を目指す身体的ハンディを持つ子ども達を昨年同様募集)
  - 大自然の中での共同生活(飯盒炊飯、ウォークラリー、自然観察、キャンプファイヤー等)
  - 事前・事後交流会、高校生スタッフ(大人スタッフ同等に扱う)研修会の開催

### 活動の効果

障害児と健常児に何の壁もないことを参加者全員が理解できた

子どもたちの社会性・自主性・協調性の育成

参加スタッフ間の信頼関係の強化

## ■ 那須体験旅行プロジェクト2003

- ディレクター： 菰方 泰生
- 開催日時： 2003年9月27日～28日 事前交流会：2003年9月15日
- 開催場所： 栃木県那須地区 宿泊先：貸し別荘「泉苑」
- 参加者数： 子ども15名、ボランティア25名
- 狙い： ハンディキャップを背負った子ども達を主対象として、参加者並びにボランティアスタッフとの共同生活を通じて、協調性、社会性を体験学習することを目指す。
- 主な活動内容
  - 知的・身体的な障害を持った子ども(小学生～高校生)が、親元を離れ、ボランティアスタッフと一緒に1泊2日の旅行をする。
  - 旅行の中で、牧場での酪農体験、宿泊先でのバーベキュー、音楽会を実施した。

### 活動の効果

親元から離れた旅行体験を通して、自立性を伸ばせた  
酪農体験やさまざまな体験を通して、社会性を養えた  
ボランティア初心者も「やってみればわかる」という精神を体得できた。

## ■ KIDS-GEインターナショナルプロジェクト2003

- ディレクター: 関口 剛
- 開催日時: 2003年9月14日～2004年1月24日 渡米期間 2003年12月19日～28日(10日間)
- 主催: KIDS / GEジャパン
- 場所: Give Kids the World (米国:オーランド、アトランタ)
- 参加者数: 高校生7名、スタッフ5名
- 狙い: 高校生が直接心のこもった奉仕活動をすることで、難病の子どもたちへ生きる力を注ぎ込み、同時に自分たちは生きることの大切さ、やりがい、生きがいを認識させる。
- 主な活動内容
  - 3ヶ月の準備期間中、毎週末の英会話レッスン及び文化交流発表の練習
  - 横須賀米軍基地訪問
  - Give Kids the Worldで次のことを実施した。
    - 日本文化の紹介・発表 / レストランでの給仕サービス
  - ディズニー・ワールドでのレクリエーション
  - アトランタでのキング牧師記念館、コカ・コーラミュージアム訪問

### 活動の効果

奉仕活動を通して、思いやりの心の習得  
日本文化の再認識、アメリカ文化の体験  
英語力の向上と集団の中でチームワークを作るための精神的な成長

## ■ KIDS高校生プロジェクト2003

- ディレクター： 庄司 一郎
- 活動日時： 通年
- 参加者数： 養護施設在園の高校生(10名)、KIDSスタッフ7名
- 狙い： 養護施設在園の高校生は閉鎖的な社会観になりがちな為、社会経験を重ねることで、彼らに社会認識を向上させる事を目的とする。
- 主な活動内容
  - KIDSプロジェクトのボランティアスタッフ活動への自主的な参加
  - 高校生自らが企画した富士登山プロジェクトの実施
  - 高校生自らが企画した那須TRYプロジェクトの実施

### 活動の効果

高校生が自主的に活動し、意欲的になれる雰囲気作りができた。  
高校生に社会性や自主性を伸ばす体験やきっかけを提供できた。  
養護施設との信頼関係および交流関係を深めることができた。

## ■ KIDSサマーインターンシッププログラム2003

- ディレクター: 丹野 幸敏
- 主催: KIDS / ブルームバーグL.P.
- 活動日時: 2003年8月4日～8月22日
- 場所: ブルームバーグL.P. 千代田区丸の内 郵船ビルオフィス
- 参加者数: 養護施設在園の高校生(4名)、KIDSスタッフ 5名
- 狙い: 児童養護施設等に在住の高校3年生、施設を卒業した18歳以上の学生や未就学者を対象に、就業体験の機会、および将来の自立、仕事やキャリア形成について考えるきっかけを提供する。
- 主な活動内容
  - オフィス内での一般事務及びサポート業務
  - インターンシッププログラムで学んだ研修成果のプレゼンテーション

## 活動の効果

高校生達は3週間、無遅刻無欠勤でインターンシッププログラムを修了  
学校生活や通常のアルバイトでは経験できない、職場での職務責任の重さ、厳しさを体験することが出来た。  
当初は大変苦勞をしたが、多くの職場の人々とコミュニケーションが出来るようになった。  
すばらしい人々との出会いを通じて、各自の将来について真剣に考える機会を得たこと。



## ■ 定期施設訪問

- ディレクター： 富岡和広
- 日時： 通年
- 参加者数： 対象となる子ども約300名、延べ参加ボランティア約1,500名
- 狙い： 子どもたちとボランティアの継続的交流を通して、子どもたちに対する継続的社会教育を実現する
  
- 主な試み
  - 定期訪問先は、現在 7施設です。毎月1～2回ずつ定期的に訪問を実施した。
  - 2施設は定期訪問の枠の中でミニTDLを開催
  
- 課題
  - 「母子生活支援施設」「児童養護施設」は不定期訪問になっている。
  - ある学園への訪問活動は、8～11月のボランティアの確保ができず、別の学園への定期訪問も規模がかなり縮小している。従来のボランティア募集の方法以外に、地域に特化したメディアの開拓などが今後の課題となっている。
  - 定期訪問リーダーの育成も必要である。

## 活動の効果

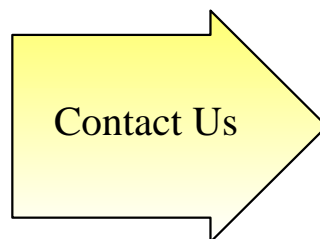
子どもたちとボランティアとの継続的な活動の定着  
各種プロジェクトと定期訪問との連携強化  
企業とのコラボレーション活性化

# 2003年度全体運営の活動報告



## ■ 全体運営

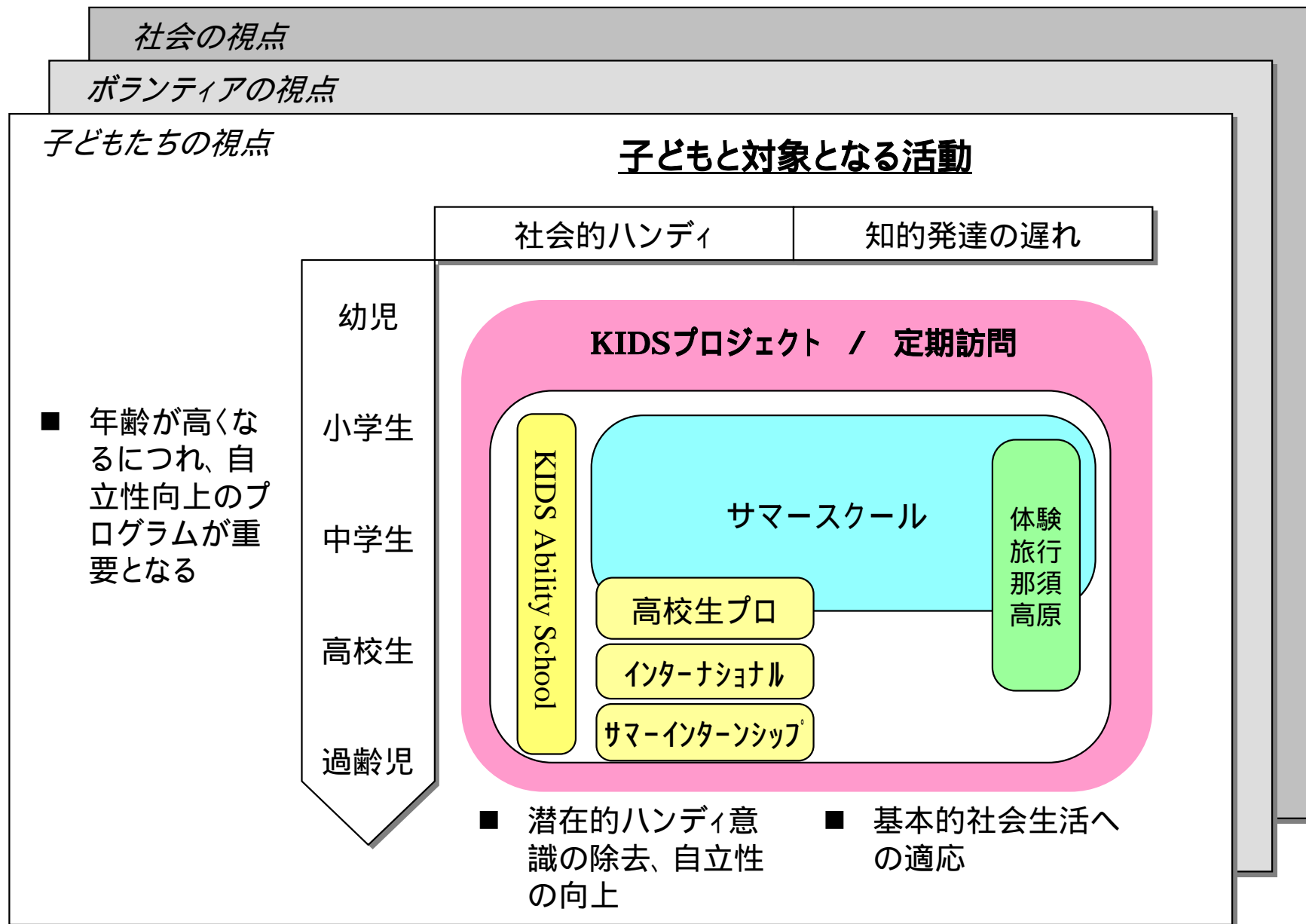
- 運営委員： (理事) 丹野幸敏、山本美樹夫、藤本 茂、桜井 祥一、富岡 和広、森本 健、石井政暁、井上邦彦  
および各プロジェクト・ディレクター、および資金、広報、データ担当リーダー
- 運営委員会： 毎月1回開催
- 活動方針： 子ども達、ボランティア、企業・団体の3つのディメンションに対して、KIDSの活動を最大限に訴求していくことを狙い、「3D Marketing」を2003年度の活動方針としました。
- 機能： KIDS全体運営ビジョンの策定、企画計画承認、各種活動実施推進、資金管理、対外活動、運営諸実務、および運営上の課題対応
- 主なアウトプット
  - 会計、内部統制強化の仕組み
  - プロモーションツールの作成
  - 対外カンファレンスへの参加
  - 東京都社会福祉協議会会長賞、東京青年会議所NPOアワード審査員特別賞受賞
  - GE Japan社への感謝状贈呈、及びレセプション参加



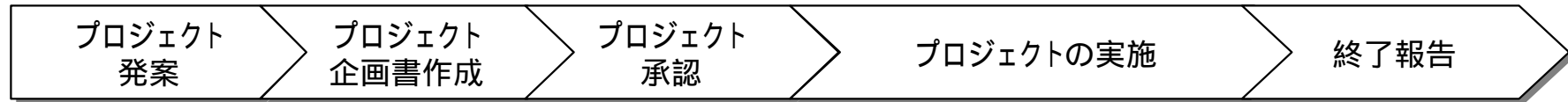
### KIDSオフィス：

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-2-202  
TEL/FAX: 03-3356-4856(平日9～17時)  
ホームページ: [www.kids-npo.com](http://www.kids-npo.com)  
Email: [kids\\_tm@hotmail.com](mailto:kids_tm@hotmail.com)  
特定非営利活動法人 KIDS 代表者 丹野 幸敏

# 2004年活動計画



# プロジェクト承認プロセス



年間計画

- シンポリックPj
  - TDL
- アソシートPj
  - Int'l
  - サマースクール
  - 高校生
  - 那須体験
- 新規Pj

- テンプレートに基づく企画書の作成
  - 目的
  - スタッフ案
  - 予算
  - スケジュール
  - 安全・リスク
  - 広報方針
  - ファンドレイズ必要性

\* 必要に応じて個別資料を添付

- 総会による年間プロジェクト計画承認
  - 基本的に一括承認
- 否認の場合修正案を作成し、1ヶ月以内に再審議
  - 運営委員会一任

- 運営委員会が総会から権限委譲
  - 基本的に個別承認
- 否認の場合修正案の提出は妨げない

- 各月の運営委員会にて進捗管理
  - スケジュール確認・調整
  - スタッフィング確認・調整(ディレクター交代含む)
  - 予算確認・調整
  - 内容確認・修正
- 運営委員会は必要に応じてプロジェクト中止・延期命令
  - プロジェクト中止・延期書をディレクターが作成(1ヶ月以内)
- 運営委員会によりプロジェクト当日の観察
  - プロジェクト・ディレクター以外、最低1人の運営委員が参加

プロジェクト  
報告書

- プロジェクト実施概要
- 成果
- 予算実績
- 反省事項

\* 3ヶ月以内あるいは12末が提出期限

計画外

- 年間計画時にアイデアあり
  - 構想案を提出
- 年間計画時にアイデアなし

## ■ KIDSプロジェクト2004

- ディレクター: 大滝 正信
- 開催日時: 2004年6月4日(金) 事前交流会5月15日(土)
- 参加者数: 子ども250名、ボランティア400名、付添い170名、スタッフ85名
  
- スローガン: 「いっぱい笑顔で、素敵な思い出を!!」
- 狙い: 障害(難病含む)をもった子ども達とボランティアの継続的交流を目指すきっかけ作り  
および、外出の機会が少ない子ども達に社会参加の機会を提供する。
  
- 主な試み
  - 身体的または知的障害を持った子ども達、難病による闘病生活のために普段外出の機会が少ない子ども達を参加対象とする。
  - ボランティア事前説明会・交流会の実施
  - 養護施設在園の高校生にボランティア体験の場を提供する。
  - 広報活動を通じてボランティア活動を社会へアピールする。
  - プロジェクト終了後に参加者に報告書を送付する。

## ■ KIDSサマースクール2004

- ディレクター: 齊藤 大介(予定)
- 開催日: 2004年7月29日～8月1日 事前交流会 6月26日 事後交流会 9月11日
  
- 開催場所: 静岡県立 朝霧野外活動センター
- 参加者数: 子ども60名、スタッフボランティア38名
  
- 対象: 社会的または身体的にハンディキャップを持った小学生から高校生
- 狙い: 親元から離れたキャンプ生活、グループ活動を通じて、社会性や協調性、積極性を育む。
  
- 主な試み
  - キャンプ生活によるグループ活動や共同生活の体験
  - 自然あふれる環境での学習体験
  - 子どもたちによる自炊
  - 事前、事後交流会の実施

## ■ KIDS体験旅行2004 in 那須高原

- ディレクター： 未定
- 開催日： 2004年9月下旬(一泊二日)
  
- 開催場所： 未定
- 参加者数： 子ども15名、スタッフボランティア30名
  
- 対象： 身体的または知的障害を持った小学生から高校生
- 狙い： 障害を持った子ども達が家族から離れた環境で、ボランティアスタッフと共に1泊2日の期間、共同生活を行なう。その共同生活を通じて協調性、社会性を体験学習する。
  
- 主な試み
  - グループ活動や共同生活の体験
  - 自然あふれる環境での学習体験
  - 事前研修会の開催





## ■ KIDS-GEインターナショナルプロジェクト2004

- ディレクター: 未定
- 日程: 2004年12月(10日間)
- 場所: 米国
- 参加者数: 子ども8名、養護施設指導員1名、スタッフボランティア5名
  
- 狙い: KIDS親善大使として、ボランティア活動を通じた日米交流を实践し、自主性、積極性、社会的自立の芽を育てる、様々な人との関わり合いの中から自己を表現することを学び、また、他者への理解も深める、グローバルな視点を身につける、ことを目的とする。
- 主な試み
  - 3ヶ月以上にわたり各週末行われるエデュケーション・プログラムへの参加
  - 事前異文化研修、英語研修 (GE社ボランティアによる英会話特訓)
  - 米国でのボランティア活動 (Give Kids The Worldでの奉仕活動)
  - 養護施設指導員の方への米国福祉環境視察機会を提供する。

## ■ KIDS高校生プロジェクト2004

- ディレクター： 庄司 一郎
- 日程： 通年
- 参加者数： 高校生10名、スタッフボランティア7名
  
- 狙い： さまざまな社会活動を通して、養護施設在園の高校生たちの自主性、社会性を養うことを目的とする。
  
- 主な試み
  - 高校生が主体的に企画、運営、総括を行なう社会活動
  - 高校生自身による報告会の開催
  - KIDSプロジェクトへの参加
  - KIDSサマースクールへの参加
  - 高校生企画のスポーツ大会
  - 総会にて高校生自身による報告会の開催

## ■ KIDSサマーインターンシッププログラム2004

- ディレクター: 未定
- 日程: 2004年8月(予定)
- 場所: 当該プログラム協賛企業事業所(都内)
- 参加者数: 養護施設在園の高校生等(10名)、KIDSスタッフ5名
  
- 狙い: 児童養護施設等に在住の高校3年生、施設を卒業した18歳以上の学生や未就学者を対象に、就業体験の機会、および将来の自立、仕事やキャリア形成について考えるきっかけを提供する。
  
- 主な試み
  - 従来のオフィス系に加え、IT系等でのインターンシッププログラム拡大
  - インターンシッププログラム事前研修実施
  - 協賛企業受入条件の事前確認および履行管理
  - インターンシッププログラムで学んだ研修成果のプレゼンテーション

## ■ 定期訪問

- ディレクター： 藤本 茂
- 日時： 通年、9施設に対し、毎月1～2回ずつの訪問
  
- 参加者数： 対象となる子ども約300名、延べ参加ボランティア約1,500名
- 狙い： 子どもたちとボランティアの継続的交流を通して、子どもたちに対する継続的  
社会教育を実現する。
  
- 主な試み
  - 初心者の受け入れ拡大
  - 運営の強化およびサポートの拡充
  - 活動内容の充実・ボランティアのスキルアップ
  - 地域・協賛企業との協調の推進
  - 施設間横連携企画

- KIDS心のレゾナント・シンポジウム2004 ~「明日の仲間へ、響きあう仲間と共に」~
  - ディレクター: 未定
  - 日程: 2004年9月(予定)
  - 開催場所: 都内
  - 参加者数: 200名程度(子どもたち、ボランティア、施設、協賛企業、他NPO、KIDSスタッフ等)
  
  - 狙い:

KIDSの活動を広く多くの方に紹介すると共に、KIDSステークホルダーとの意見交換、テーマに基づく討論等を通じて、「子どもたちの自立」「仲間との感動の共有」「社会貢献活動の活性化」の為に、KIDSが、NPOが、そして社会がどのような役割を担って行く必要があるかを考える場としたい。
  - 主な試み
    - KIDS活動の積極的なプロモーション
    - 個々のプロジェクト、活動の発表の場の提供
    - ステークホルダー間の交流
    - KIDSへの期待、要望の収集

## ■ 全体運営

- 運営委員：(理事) 丹野幸敏、山本美樹夫、石井政暁、井上邦彦、富岡和広  
(新理事) 桜井祥一、藤本 茂、森本 健、徳久 正清(2003年総会承認)  
(スタッフ) 各プロジェクト・ディレクター、および資金、広報、データ担当リーダー

- 日時：通年

- 活動方針：「心のレゾナント」

KIDSは12年間の活動の中で、子どもたちの心の豊かさ、ボランティアの心の温かさ、協賛企業・団体の心の優しさ、を結晶化してまいりました。心の貧しさ、寂しさ、冷たさ、が感じられる今日の社会に対し、今こそKIDSの心の結晶を広めていくことが大切だと考えます。「心のレゾナント」とは、「KIDSの精神を広く社会に共鳴・響かせたい」という思いであり、今年度の活動方針に致しました。具体的には、KIDS情報ネットワークの構築やKIDS心のレゾナントシンポジュームの開催を中心として、今年度の活動を計画するとともに継続的活動に関しましても、心のレゾナントを基盤とした活動設計とする戦略です。

- 機能： KIDS全体運営ビジョンの策定、企画計画承認、各種活動実施推進、資金管理、対外活動、運営諸実務、および運営上の課題対応

- 活動の重点

- KIDS情報ネットワークの構築による企業、学校、施設、地域ボランティアセンター共鳴
- KIDS心のレゾナントシンポジュームの開催
- KIDS年間活動案内の作成および配布 (各施設、企業・団体対象。HPでも公開)
- 学校・団体・企業・施設とのコラボレーション推進
- 「KIDS Ability School: KAS」の推進 (各施設、企業とのコラボレーション)
- 定期施設訪問の強化とプログラムの見直し
- 人材発掘と育成